

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	関西国際大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	カンサイコクサイダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F128310108954
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	兵庫県
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	科目名	インターンシップⅡ
	学部・研究科等名	経営学部 経営学科
	担当教職員名・役職	齋藤勝洋:講師
	受講者数実績年度	令和5年度
	受講者数※キャリア形成支援活動参加者数	8
	受入企業等数	1
	受入企業等名	野村証券(株)神戸支店
	産学協議会の整理上の類型	3.タイプ3(汎用的能力活用型インターンシップ)
	キャリア形成支援活動の分類	1.長期(概ね1か月以上)のキャリア形成支援活動 7.高学年(大学3年次~4年次程度)又は修士課程学生を対象としたキャリア形成支援活動 9.大企業・グローバル企業でのキャリア形成支援活動
上記以外のキャリア形成支援活動の分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該キャリア形成支援活動は、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	インターンシップⅠや様々な専門的学習で獲得した専門知識を活かし、より高度な知識の統合と活用を行うスキル獲得と、就業体験を通じた就労感、また、金融業界への就職活動への契機の獲得を目的に実施される。そのため、このインターンシップは問題解決型として実施され、受動的でなく積極的且つ能動的行動が求められる。
要素②	2-1.当該キャリア形成支援活動を正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、当該取組の実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するキャリア形成支援活動の内容	3.当該キャリア形成支援活動は、専門教育科目として実施している 5.当該キャリア形成支援活動は、選択必修科目として実施している 7.当該キャリア形成支援活動は、授業期間中に実施している 8.当該キャリア形成支援活動は、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているキャリア形成支援活動の内容	
	2-3.当該キャリア形成支援活動を実施する年次	大学 学部3年
	2-4.当該キャリア形成支援活動で付与される単位数	大学 4単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	基本的な経済・経営・金融に関する知識獲得を行う前期と、より専門的研究を行う後期の2部で構成される。前期は野村証券の新人教育をベースに専門的レクチャー及びプレゼンを行い、ビジネスの現場で必要な知識、企業に関する知識、そして企業分析、業界分析のスキルを獲得する。後半はこうして得られたスキルと大学での知識を統合し、各学生が興味あるテーマを設定し、最適解を検討する研究へと入る。そのため、大学でのブラッシュアップと企業からのコメントを繰り返し現場と教室の往還を行うことで研究を進め、幅広い経済経営へのインサイトの獲得と就労意識形成を行っていく。

項目	確認事項	届出内容	
要素③	3-1.インターンシップ等の就業体験の実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、キャリア形成支援活動の教育的効果が発揮されるよう就業体験実施期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい	
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップ等の就業体験における成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのキャリア形成支援活動の実施目的や期待する教育的効果の理解を促している	
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容		
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップ等の就業体験の成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている	
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容		
	3-2-3.該当するモニタリング	2.インターンシップ等の就業体験実施期間中に、学生が定期的に大学等において教職員と面談を実施している	
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容		
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	ビジネスの現場に必要なビジネスマナー、社会人としての基礎知識の獲得を行うだけでなく、経済経営の基礎知識と視点、そして金融業界の基礎用語を獲得する。また、こうした知識や思考力を増やすため、日経新聞の読込みとコメント、教員の評価を現地活動実施まで毎日行っていく。	
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	前期終了後に1度目の振り返りを行い現地活動の成功と失敗、学びを整理して後期の活動に繋げていく。また、後期の途中で振り返りを含めて中間報告をポスターとして纏め発表する場を設けている。後期終了後は、全体活動を振り返って成功と失敗、得られた知識と経験を振り返り、成果をポスター及び動画により発表している。またこれらの学びと成果を、今後の授業や最終的には卒業論文作成にも繋げていくように指導を行っている。	
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	事前学習、現地活動、事後学習を通して資料提示やワーク、課題を大学LMS管理し、閲覧時間、提出状況を確認している。また、その日の活動日報の記入と教員のコメントによって、学生に理解度や躰きの把握を行っている。更に客観的指標として、マイナビ株式会社のキャリアデザインツール「MATCH+」を導入し客観的評価を教員と学生が共に実施できるようにしている。	
	要素④	4-1.キャリア形成支援活動の教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
		4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をキャリア形成支援活動の実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている 2.社会で求められる汎用的能力等を客観的に測定するためのテストを用いて、キャリア形成支援活動の実施前後で回答を求めている 3.キャリア形成支援活動による到達度を具体的に示した評価基準(例:ルーブリック)を整備し、学生及び教員で共有している
4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み			
4-3.上記回答内容に関する詳細		本学独自の評価指標である「KUISベンチマーク」を元にしたルーブリックを期首に作成して自己評価を行い、また、事後学習でも再度利用して学生の成長を計る。また、マイナビ「MATCH+」による客観的評価も同時に行っており、主観的・客観的な定性的・定量的評価と、教員と企業の評価を擦り合わせることで教育的効果を高めている。	

項目	確認事項	届出内容
<b>要素⑤</b>	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のキャリア形成支援活動の実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合)	前期に連続した5日間の現地活動を行う。後期に非連続で5日間を行う。
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	後期は定期的な5回の授業開催だけでなく、これを軸として学生の自主的な学び、議論を促している。これに教員も参加して開催するため、頻繁な研究活動を展開している。また、野村證券の特別講座が正規科目として開催されているため、これも含めて利用しながら全行程約6ヶ月の長期実施を行っている。
<b>要素⑥</b>	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してプログラムを設計している
		2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している
		3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている
		4.受入企業等も、就業体験実施期間中の学生に対する評価を実施している
6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	6.企業と協働して、PDCAを実施している	
6-3.上記回答内容に関する詳細	授業内容、目標、レベル、提案条件等を事前に打ち合わせて全てを連動するよう調整している。また、前提の知識も合わせるため、講義と共に新聞読込等も実施している。	
7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL		
<b>問い合わせ先</b>	大学等名	関西国際大学
	担当部署名	学修支援部 キャリア支援課
	担当者役職名	主幹
	担当者氏名	川越 友靖
	電話番号	0794-84-3508
	メールアドレス	<a href="mailto:intern@kuins.ac.jp">intern@kuins.ac.jp</a>